

シーズン終了のごあいさつ

いつもオービックシーガルズを応援いただき、ありがとうございます。

ファーストステージを4勝1敗の2位で通過し、日本一奪回に向けて背水の陣で挑んだセカンドステージは、第1戦のIBMに44-14と勝利し、続く第2戦は、最大の難敵パナソニック電気インパルス(11/22(日)、大阪市・長居球技場)との3年連続の顔合わせとなりました。この試合は、前半をリードするなど昨年以上に健闘したものの20-23で敗れ、オービックシーガルズの2009年シーズンは終了いたしました。

ファーストステージ最終戦のアサヒビールシルバースターに敗れた後、自分たちの足元を見つめ直し「勝ちきるチームづくり」に一丸となって取り組みました。いわば、春から積み上げてきた個々の選手の土台に、さらに緻密かつ綿密なチームワークを付加していく作業です。実際、パナソニック電

戦までの4週間は、今までにない密度の濃い時間を過ごし、選手たちは集中力高く戦いましたが、結果は敗戦でした。

これでオービックシーガルズは、3年連続で、パナソニック電気戦での敗北によりシーズン終了をむかえてしまいました。

ご期待を裏切り続ける申し訳なさ、自分たち自身への歯がゆさ、3回同じ相手に敗れる無念、等々いろいろな念が残りますが、忸怩たる思いで、さらなる進化・成長に向けて、チームづくりの基礎から見直す所存です。

今シーズンも、ここまでオービックシーガルズを応援いただき、誠にありがとうございました。このシーズンオフから来年にかけて、1日1日、真価が問われていることを肝に銘じて精進いたします。



GM兼監督
並河 研

【セカンドステージ・レポート】

ファイナルステージ進出ならず

セカンドステージ第1戦 11月15日(日)川崎球場

vs.IBM BigBlue

攻守に圧倒、セカンドステージ初戦を快勝 オービック44-14 IBM

今年から導入されたセカンド・ステージは各ディビジョンの1位から3位の3チームでブロックを編成し、各チーム2試合ずつ試合を行ってその中の1位チームがファイナル・ステージに進出できます。オービックシーガルズ(EAST2位)はAブロックとなり、第1戦はCENTRAL3位のIBM BigBlueと川崎球場で対戦しました。IBMはセカンド・ステージ初戦で既にパナソニック電工に敗れているものの、ディビジョン2位の得点力に加え、アメリカ人選手3人を有するチーム。しかし試合は最初からオービッ

クのペースで進みます。開始のキックオフでWR#83清水が83ヤードのリターンTDで先制。ディフェンスも#11ケヴィン・ジャクソン、#12カール・ノアDL陣の活躍でパントに追い込むと、すぐさまRB#20古谷(拓)のTDランで追加点を奪います。この後、IBMにパスでTDを許したものの、24-7と大きくリードし前半を終了。後半もQB#15龍村からWR#22古谷(晋)へのTDパス、RB#36白木、#21杉原のTDランなどで追加点をあげ、44-14で快勝しました。

ゲームMVP(コーチ選出)

Offense MVP
OL#75 宮本 士

4回のビッグブロックをマーク。ゲームの軸となったランプレーを下支えし続けた。パスプロテクションもほぼ完璧でQBを守りきった。

Defense MVP
DL#12 カール・ノア

6タックルのうち、2回アサヒメント+αのプレー、0.5サック。膠着した戦況を打破するファンブルフォースが光った。

Kicking MVP
WR#83 清水 謙

2回のキックオフリターンで113ヤードを獲得。試合開始早々のキックオフリターンTDにより、チームは常にイニシアチブをとり続けることができた。



WR#83清水のリターン TD



ディフェンス MVPの DL#12ノア



WRをマークする DB#2古谷主将

セカンドステージ第2戦 11月22日(日)長居球技場

vs.パナソニック電気インパルス

前年度覇者に惜しくも破れる オービック20-23 パナソニック電工

セカンド・ステージ第2戦は2年連続Xリーグ覇者のパナソニック電工と長居球技場で対戦。両チームとも既にIBMに勝利しているため、ファイナル・ステージ進出をかけた試合となりました。昨年、一昨年ともにパナソニック電工に敗れてシーズンを終了しており、チーム一丸となって試合に挑みました。試合はパナソニック電工にFGを決められ先制されますが、すぐさまRB#20古谷(拓)の43ヤードTDランで逆転に成功。その後は互いにTDを奪い13-9で前半を終了します。後半はパナソニック電工RB#20石野にTDランを決められ13-16と逆転を許します。その後オービックオフェンスはゴール前ま

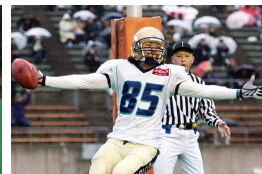
で進みますが、ギャンブル失敗、FGブロックと連続して得点のチャンスを逃してしまい、逆にパナソニック電工QB#8高田からWR#7長谷川にTDパスを決められ13-23とリードを広げられてしまいます。その後、RB#20古谷(拓)がTDを決めたものの追いつけはそこまで。20-23

※敗戦のためゲームMVPはありません

でパナソニック電工に敗れ、ファイナル・ステージ進出はなりませんでした。なおファイナル・ステージにはセカンド・ステージ各ブロック1位のパナソニック電工、富士通、鹿島と、ワイルドカードでアサヒビールの、計4チームの出場が決まりました。



RBにタックルする LB#5中井



TDパスを決めて喜ぶ WR#85秋山



プレッシャーに動じない QB#15龍村

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズ マンスリーレポート11月号

発行人/並河 研
編集/渡部滋之
制作・デザイン/高木慶太
文/藤田義生、渡部滋之
発行/株式会社OFC
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3-6-3
tel: 047-452-2224
http://www.seagulls.jp